

古風で可愛い、自然体で生きる

**素敵な団塊の女性たち**  
お彼岸を前に「団塊の女性の葬儀観」調査を実施

(株)くらしの友

高齢社会を背景に、「葬儀」は最近家庭でも身近なこととして話題にのぼるようになりました。特に「団塊」と呼ばれる世代の人たちは、親や友人などまわりで亡くなる人も増え始め、「葬儀」について考え始める年代でもあります。

そこで、冠婚葬祭互助会の(株)くらしの友〔本社：東京都大田区西蒲田8-3-1、社長：伴 良二〕では、春のお彼岸を前に、「**団塊の女性の葬儀観**」調査を実施しました。

なお当社では、昨年9月、団塊世代の男性(1947年～49年生まれの1都6県在住者400人)を対象に「団塊世代の葬儀観」と題した調査をおこないましたが、今回の調査と一部データを男女比較しています。

---

< 要 約 >

現実的な団塊の女性。自分の葬儀、「すでに話し合っている」、「話し合いたい」が80%(2P)

親思いな同居家庭。親の葬儀、同居の36%が「すでに話し合っている」(3P)

夫を“解放”。自分の死後、夫には「自由に生きてほしい」が70%(3P)

女性として改めて自立を求め、自由に生きる。98%が「再婚しない」(4P)

義理の参列は望まず。自分の葬儀、家族や親しい友人に送られたい(4P)

キレイな花に飾られて美しく見送られたい、可愛い団塊の女性。(5P)

意外や義理堅い団塊の女性。夫の実家の墓...4人に1人は「よろこんで入る」(6P)

遺影は、ありのままの自分を見せたいが圧倒的(6P)

古風で素直な団塊の女性。“あの世”で会いたい男性は「父」、「夫」(7P)

... 以上のキーワードから、“古風で可愛い、自然体で生きる”団塊の女性像。

---

団塊の世代...1947年～49年の第一次ベビーブームに生まれた人々で、常に戦後の消費をリードしてきた世代。作家の堺屋太一氏が著書『団塊の世代』で命名。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします

(株)くらしの友 経営・営業企画室

行武、原田

03-3735-5357(直)